

 **会報**
シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088
ホームページアドレス <http://webc.sjc.ne.jp/odate/>



十ノ瀬 藤の郷 (大館市山田地内)
満開の藤の花 (期間限定開園 5月中旬~)

定時総会

開会のご挨拶



会長

三浦 剛

会員の皆様、令和四年度定時総会にご出席いただきありがとうございます。開会に先立ちまして一言ご挨拶申し上げます。

昨年末、鳴海会長が任期半ばで体調を崩され、急遽、当時副会長でありました私が会長に就任致しました。それから六ヶ月経ちましたが、まだまだ不慣れで心許ない状態が続いておりますが宜しくお願い致します。

さて、早速であります。昨年度は、事業報告にありますように、我が国の総人口は令和四年二月一日現在、一億二五三四万人となっており、うち六五歳以上の高齢者人口は三六二〇万人を越え、全人口の二九%という超高齢化社会となっております。

このような状況に於いて、国は働き方改革実現会議が決定した「働き方改革」を進め、高齢者が安心して七〇歳まで働けるよう今年四月一日に「改正高齢者雇用安定法」を施行しました。センター

としては六〇歳以上の会員確保を目標している中で会員増強の目標に対して逆風であり、思うように会員増強の目標を達成できませんでした。会員の確保・増強は当センターの事業の根幹を為す存在であり、当センターの安定的運営に繋がるものと確信しております。

先般、秋田県シルバー人材センター連合会の総会に出席しましたが、各センターとも会員増強の問題が大きなテーマとして議論されました。当センターでも会員一人一人による口コミなどで入会促進運動を展開し、会員増強に努めたいと思っておりますので会員皆様のご協力をお願い致します。

また、令和三年度の事業実績につきましても、派遣事業・請負事業とも前年度比マイナスとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、公民館管理、スポーツ施設管理などの休館、各イベントなどの中止が大きな原因と思われまます。さらに、今年度は駐車場管理、宿直管理などの仕事も警備業法との関連で制約され、業務廃止も考えられます。

役員・職員一同、就業機会の確保・拡大に努めておりますが、厳しい状況が続いております。会員の皆様とともに、役員職員一同一丸となって事業展開を進めてまいり

ますので、何とぞご理解のほどお願い申し上げます。

最後に、センター事務所の状況ですが、業務を担当する職員が退職し、欠員となっております。皆様にご不便、ご心配をおかけしております。早急に欠員補充を行い、体制を整えるべく鋭意努力しておりますので、暫時ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。開会のご挨拶といたします。

令和四年度 定時総会

六月十七日(金)に大館市立中央公民館視聴覚ホールを会場に開催され、本年度事業計画、予算、昨年度事業報告、決算などが承認されました。新型コロナウイルス感染症がまだ収束しない状況から、「三密回避」を念頭に、昨年同様、来賓も祝辞も事情ご理解の上ご遠慮していただきました。総会の参加会員も出席者を少なくする形で委任状や議決権行使書とりまとめを優先しました。

当日の出席会員は二二名。委任状と議決権行使書を合わせると二九三名の出席で、会員数四九二名の過半数となり、成立要件を満たすことができました。議長には、

四年続投の十四班の佐藤悟会員が選出され、議事進行の結果、上程された全ての議案が承認・可決されました。

二十一年度の受託事業受注額は二億二六七八万七〇〇〇円で前年度比八五五万二〇〇〇円の減。派遣事業の受注額は五三二七万円であり、就業延べ日数、就業率とも前年度を下回りました。新型コロナウイルス感染症拡大による施設の休館、イベント中止の就業機会減少の影響が大きく表れたものです。

本年度事業計画では、会員の増強・就業機会の確保と拡大など七項目の運営目標を設定しました。



三浦会長開会の挨拶

令和四年度の基本事項

- 一、 会員増強と理念の浸透
- 二、 就業機会の確保・拡大
- 三、 安全就業の徹底
- 四、 適正就業の推進
- 五、 知識、技能の習得・向上
- 六、 組織の活性化と財政基盤の強化
- 七、 ガバナンスの意識の徹底

会員増強の課題とお願い

ここ数年、会員数の増加が頭打ちになっていきます。高齢者の雇用に関する法律では年令にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会の実現」を目指し、企業に対して定年年令の引き上げ、継続雇用制度の導入など環境整備を義務づけています。秋田労働局の集計結果では秋田県では高齢者雇用確保措置を導入している企業が調査対象企業の九九・六%と全国で最も高くなっています。そのため当センターの入会説明会の参加者の年令も高くなっており、会員の平均年齢は七四歳。従来の六〇歳での入会はほとんどありません。シルバー人材センターは年令制限がありませんから、働きたい人の入会を積極的に勧めて頂きたいと思えます。

「安全就業強化月間」激励会

毎年、七月は全国シルバー人材センター連合会の「安全就業強化月間」になっており、当センターでは七月一日にセンター駐車場では「安全就業強化月間・激励会」を行いました。当日は、庭木班、刈払い班、除草班を中心とした会員と安全・適正就業委員会のメンバーが早朝に集合し、三浦会長のあいさつ、安田安全委員長の安全に関する諸注意のあと、安全就業の取り組みを誓い合いました。昨年度は、当センターは無事故で優良センターでしたが、年度末三月に労災事故が発生しました。作業事故は「慣れからくる油断」「気のゆるみ」「体力に対する過信」



「安全就業激励会」無事故就業を頑張ろう

が招き寄せます。暑い時期の熱中症に加え、まだまだ先の見えない「新型コロナウイルス」の対策も忘れてはいけません。

県シ連「安全標語」入選作品

令和四年度秋田県シルバー人材センター連合会募集の「安全標語」入選作品を紹介します。(敬称略)

最優秀賞 「アドバイス 素直に受けて」

秋田市SJC 小松 剛

優秀賞 「安全は 互いを気遣う心から」

由利本荘市SJC 小坂 洋治郎

優秀賞 「安全は 体調管理と心のゆとり」

男鹿市SJC 佐藤 勝彦

入選 「思いこみ やったつもりは 事故のもと」

由利本荘市SJC 佐藤 重子

入選 「事故ゼロで 減らす損失 増す信用」

鹿角地域SJC 戸館 治

入選 「身を守る 隠れた危険を 予知する日」

秋田市SJC 加藤 政道

新会員の紹介(敬称略)

渡部 司	土濃塚 和男	市川 正敏	石川 勝	齊藤 力	丸谷 公佑	阿部 洋一	田中 エミ子	三沢 幸子	佐藤 義美	佐々木 久満	佐藤 芳勝	工藤 繁雄	柴田 政子	佐藤 定光	才川 弘子	野呂 美和子	佐藤 吉行	萬田 真市	虻川 真一	石田 真紀子	佐藤 幸男	渡邊 正一	
一班	八班	八班	十二班	十二班	十二班	十三班	十三班	十五班	十七班	十八班	十九班	十九班	二〇班	二十一班	二十二班	二十二班	二十二班	二十二班	二十二班	二十二班	二十三班	二十三班	二十四班

令和三年十一月(八十一号)以降の入会者です。二十三人の新しい仲間です。よろしくお願ひします。

お知らせ

事務所夏季休業のお知らせ

八月十一日(木)～十六日(火)

この期間は事務所が休業となります。ご不便をおかけしますが、緊急時の連絡は、総会資料をご覧ください。

シルバー人材センターでは

運営の活動を支え、事業を推進するために、理事会に専門部会を設け、理事は何れかの専門部に属し所掌事務を分担しております。

「総務部」は事業計画や予算に関すること。「事業部」は会員の拡大や職群班に関すること。「広報部」は会報の発行と宣伝活動。「安全部」は安全就業に関することなどです。例年の奉仕活動(ボランティア活動)については、「総務部会」から今年の実施が提案されましたが、事務局の体制が整わないことから理事会で中止となりました。「事業部会」では、ウイルス感染拡大防止で中止となったイベントに代わる宣伝活動として一般家庭に向けた入会促進のための「ポスティング活動」(チ

ラシの毎戸配布)を理事全員で行ったこともありました。今年は、業務担当職員が欠員になったことから、職群班の庭木班と刈払い班の業務応援に担当理事が加わっています。



庭木班・庭木の剪定



刈払い作業中



安全委員の就業パトロール

派遣業務停滞についての

お詫び

四月に当センターの派遣元責任者が突然退職し引き継ぎがスムーズにいかなかったことから派遣元責任者が不在の状態となつてしまいました。責任者不在のセンターでは、派遣先からの受注ができません。内部職員で講習を受講して資格を取得するまでは派遣業務に従事する会員は就業できません。七月末までには責任者が決まる予定ですので、派遣業務に就業希望の会員はどうかしばらくの間お待ちくださるようお願いいたします。

編集後記

過日、ニプロロハチドームの周囲を犬の散歩中、若者たちの歓声に誘われ思わず館内に入ったところ、市内の高校の運動会が行われていました。マスクを外した学生たちの素顔、躍動感溢れる姿に目を奪われるとともに、二、三年間鬱屈した気持ちで過ごしてきた日常を忘れさせてくれるほど清々しい思いで見えていました。

マスクの無着用はじめ各種行事の復活、観客制限の緩和など少しずつではありますが、新型コロナウイルスの出口が見え始めたと思っていたら、再び感染拡大の傾向がみられるなど予断を許さない状況になってまいりました。改めて感染予防として「三つの密」を避けるための対策を継続しなければと強く思っているところでございます。

皆様方のご健勝をお祈りします。(鳴海 記)

広報部 【浅利、伊藤、鳴海、本間、菅原、安田】

表紙写真 三浦 剛会長 提供